

# 不登校対策支援プラン

プランの策定にあたって

更新日 4 月 1 日

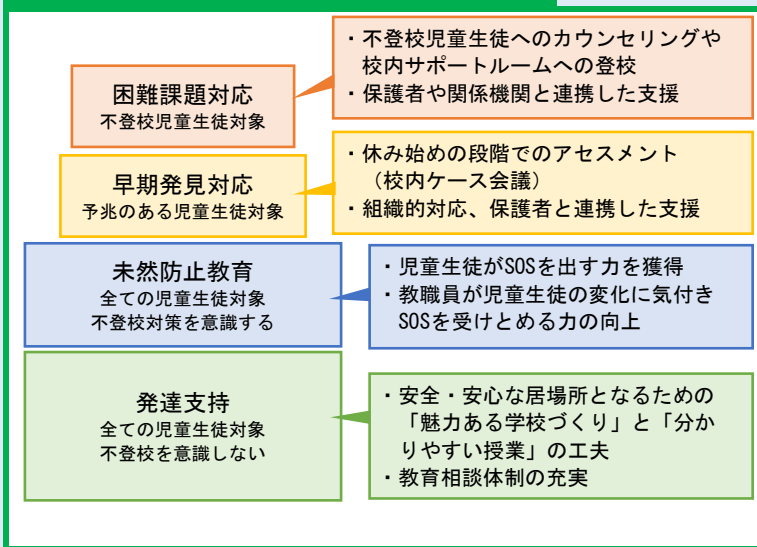
県内において不登校児童生徒数が増加傾向にある中、不登校対策では、対象や課題性に基づいた取組が求められています。全ての児童生徒を対象とした取組や不登校の予兆が見られる児童生徒への支援、欠席が継続している児童生徒への支援を組織的かつ計画的に行うことが必要です。本校では、実態を把握し、以下の目標や取組を設定し、教職員が一丸となり対策を進めることで、誰一人取り残すことのない、持続可能な不登校対策や支援を行います。

## 不登校対策の目標

- 1 前年度、別室登校や欠席しがちななど予兆が見られた児童が不登校とならないように全職員で共通理解を図り、不登校担当教員、生活指導教員、児童支援教員を中心に環境づくりに努める。
- 2 不登校児童や別室登校の児童に対し、温かな支援、受け入れ体制をつくり、学校生活適応や学力保障につなげていく。
- 3 不登校の児童にカウンセラーや関係機関と連携し、誰一人取り残さないようにする。

## 不登校対策における重層的支援構造

参考：生徒指導提要R4.12



## 不登校対策チーム構成

管理職、生徒指導担当、学年代表、児童支援教員、養護教諭、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、学校生活支援員等

## 不登校児童生徒支援関係機関等

学校教育課（学校支援チーム）  
適応指導教室（さつき学級）  
家庭児童相談員、学校運営協議会  
民生委員児童委員、揖保川病院  
姫路こども家庭センター、その他NPO法人

## 4つの層での取組 等

<b>発達支持</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の居場所がある学級づくり、分かる授業の工夫をする。</li> <li>・児童に応じた自己有用感、自己肯定感を高める働きかけをする。</li> </ul>
<b>未然防止教育</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の中で、安心して学習ができる集団づくりをする。</li> <li>・年5回のいじめアンケートや生活アンケートを行い、個々の状況を把握する。</li> </ul>
<b>早期発見対応</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康観察、個別面談、ICTを活用した発信等により、小さな変化に気づく。</li> <li>・児童を語る会で共通理解を図り、早期発見、解決につなげる。</li> <li>・報告・連絡・相談及び複数対応による教職員の連携を徹底する。</li> </ul>
<b>困難課題対応</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内サポートルームを設置し、安心して過ごせる場所を確保する。</li> <li>・担任、生活指導教員、児童支援教員を中心に安心して過ごせる環境づくりに努める。</li> </ul>